神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

＜項目＞

第6章 患者の視点に立った質の高い医療体制の整備
第3節 公的病院等の役割

とりまとめ担当課：保健福祉局保健医療部県立病院課

1 課題に対するこれまでの取組実績

(1) 公的病院等の役割
→ 県立病院が果たすべき医療機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・高度・専門医療等の提供、地域医療の支援を行い、県内医療水準の向上を図り、県民の健康の確保及び増進に寄与した。 ・各県立病院においても、引き続き特色を生かした医療の提供を行った。

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県				出典等
				H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 公的病院等の役割

評価	(A) ・ B ・ C ・ D
評価分析	<p>【足柄上病院】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県西医療圏の中核的な総合医療機関として、救急医療等を確実に実施したほか、新たに、地域包括ケア病棟を設置するなど地域包括ケアシステムに対応した医療の提供に努めるとともに、高齢者総合医療に取り組んだ。 ・地域のニーズに応じていくため、助産師主導による安全な分娩を継続して実施している。 ・災害拠点病院及び神奈川DMA T指定病院として、災害に備えた体制の充実強化に努め、平成28年の熊本地震の際は医療救護班の派遣を行った。 <p>【こども医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児専門の総合病院として、難易度が高い手術を多く行うなど高度・専門医療を提供した。また、県内唯一の小児がん拠点病院として、積極的に小児がん患者を受け入れるとともに、総合周産期母子医療センターとして他の医療機関では診療が困難な患者を受け入れ、専門性の高い包括医療を提供した。

	<p>【精神医療センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年に新病院として開院し、精神科救急医療システムの基幹病院として救急患者を積極的に受け入れるとともに、思春期医療を実施するほか、難治なうつ病等を対象とするストレスケア医療、アルコールや薬物等への依存症医療、医療観察法医療といった専門的な医療の提供や薬物療法を実施するなど、神奈川県精神科医療の中心的役割を果たした。 <p>【がんセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年に新病院として開院し、都道府県がん診療連携拠点病院として、がん診療の質の向上を図りながら、手術、放射線治療、化学療法を柱として免疫療法や漢方治療など、様々な治療法を組み合わせた「集学的治療」に取り組んだ。 <p>さらに、新たにリハビリテーションセンターや患者支援の一環としてアピアランスサポートセンターを開設し患者のQOLの向上を図ったほか、医療人材の育成や情報発信等を行い、神奈川県全体でのがん医療の質が向上するよう努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年に全国で5番目の重粒子線治療装置を整備し、先進医療として治療を行った。 <p>【循環器呼吸器病センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 呼吸器と循環器疾患の専門医療機関として、肺がん治療を強化するため「肺がん包括診療センター」を設置するほか、国内有数の実績を有する間質性肺炎治療については、多職種で包括的呼吸リハビリテーションを積極的に取り入れるなど、質の高い医療を提供した。 また、心筋梗塞等の急性期疾患ばかりでなく、慢性的疾患にも力を注ぐなど社会のニーズに対応している。 多剤耐性結核対策等、政策医療としての結核医療を確実に提供した。 <p>【神奈川県総合リハビリテーションセンター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年1月から再整備工事を行っているが（福祉棟は平成28年6月から供用開始、新病院棟は平成29年12月に供用開始を予定）、平成29年4月の七沢リハビリテーション病院脳血管センターとの統合も踏まえ、早期社会復帰を目指したリハビリテーション医療及び福祉と連携した障害者医療への取組みを着実に実施した。
<p>評価理由</p>	<p>県立病院が果たすべき医療の提供を引き続き行うとともに、医療機能の充実に向けた整備を順調に進めている。</p>
<p>今後の取組みの方向性(29年度に向けた取組の方向性)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 精神医療センターでは、認知症対策として神経科を新設し、認知症外来を実施し、原因診断に活用するため磁気共鳴画像診断装置を整備する。 こども医療センターとがんセンターが連携し、重粒子線による小児がん治療について、具体的な対象となる症例や治療の安全性を議論する研究グループ体制を構築する。

	<ul style="list-style-type: none"> ・こども医療センターで、NICUの増床計画を着実に推進していく。 ・神奈川県総合リハビリテーションセンターの再整備を引き続き進める。
次期計画に向けた取組の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・各病院の特性を生かした良質な医療を継続的に提供するとともに、医療機能の最適化に努め、県立病院に求められる機能を果たしていく。 ・医療の安全を確保するとともに、患者の視点に立った医療の提供に努める。 ・高度化、多様化する県民の医療ニーズに対応するため、新たな治療法の研究開発に積極的に取り組むための体制の強化を行う。 ・人材育成機能を充実し、効率的かつ効果的な業務運営体制の強化の推進に努める。

4 総合評価

評価	評価理由
A	県立病院が果たすべき医療機能の充実のための各施設の整備等が予定どおりに進むなど、課題解決に向けて順調に進捗している。

5 特記事項

--